



U6 COMPACT WIRELESS MIC SYSTEM

日本語マニュアル



特徴

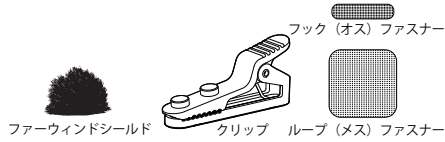
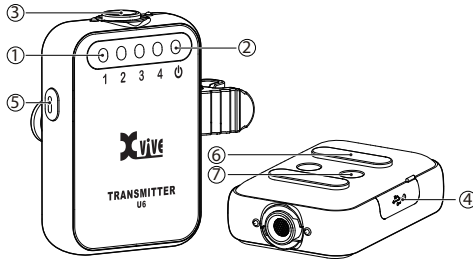
U6は映像制作に最適な超小型のワイヤレスマイクシステムです。トランスミッターはクリップと面ファスナーの2種類の装着方法があります。クリップ式ではトランスミッターを服の内側に目立たないように装着できます。面ファスナー式ではトランスミッターを完全に服の内側に隠すことが可能です。様々な用途に応じて2種類の装着方法を選択できます。トランスミッターは無指向性コンデンサーマイクを備え、2.4GHzワイヤレスバンドでクリアなデジタルオーディオ信号をカメラにマウントしたレシーバーへ伝送します。4チャンネル仕様のため、同じ場所でU6を4セット同時使用可能。また付近にワイヤレス信号干渉が生じている状況でU6を1セット使用する際に、4チャンネルから最も安定したチャンネルを選択できます。U6は動画コンテンツ、ライブストリーミング、You Tube配信を含むあらゆる映像制作に最適です。

- ・2.4 GHz トゥルーダイバーシティ方式ワイヤレスシステム
- ・トランスミッターに無指向性マイク内蔵
- ・高解像度オーディオ：24-bit / 48 kHz
- ・バッテリー駆動時間：最大4時間
- ・レイテンシー：5ms以下
- ・チャンネル数：最大4チャンネル
- ・ダイナミックレンジ：100 dB
- ・SN比：100 dB
- ・レシーバーからデジタル一眼レフカメラ/ビデオカメラへの出力は3.5mm(1/8インチ)TRSケーブル使用
- ・レシーバーの出力ゲインは0 dB/-10 dB/-20 dBの3つのプリセットで調整可能
- ・周波数特性：80 Hz - 20 kHz
- ・90フィート（約27m）の範囲でしっかりとしたRF接続が可能（実際の範囲は、RF信号の吸収、反射、干渉によって左右されます）

製品仕様

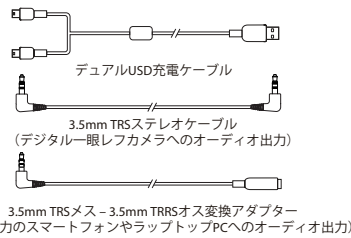
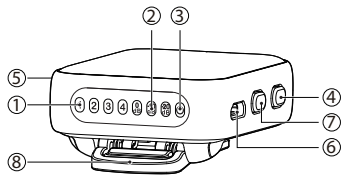
- 2.4 GHz ISMバンド
- ワイヤレスレンジ：最大90フィート（約27m）
（RF信号の吸収、反射、干渉によって左右されます）
- RF感度：-86 dBm/-92 dBm
- 全高調波歪：0.2%
- トランスミッターRF出力：<10 mW E.I.R.P. max
- アンテナタイプ：1/4波スリブダイポール、非脱着式
- アンテナの数：トランスミッター1本/レシーバー2本
（トゥルーダイバーシティを両チャンネル同時に使用可能）
- チャンネル数：最大4チャンネル
- レイテンシー：5ms以下
- 高解像度オーディオ：24-bit / 48 kHz
- トランスミッター装着方法：クリップ/面ファスナー
- マイク指向性：無指向性
- 周波数特性：80 Hz - 20 kHz
- 感度：-32 dB ± 3 dB
- ダイナミックレンジ：100 dB
- SN比：100 dB
- レシーバーアナログ出力端子：3.5 mm TRS
- レシーバー出力ゲイン：0 dB/-10 dB/-20 dB
- 充電電圧・電流：5V 1A
- 充電時間：2.5時間
- バッテリー：3.8V充電式リチウムイオン
レシーバー：420 mAh / トランスミッター：330 mAh
- バッテリー駆動時間：最大4時間
- サイズ：レシーバー：39 x 14 x 50 mm
トランスミッター：30 x 13 x 43 mm
- 重量：レシーバー：29g / トランスミッター：18g

トランスミッター



- チャンネルディスプレイ
- パワーLED
- マイク
- USB充電ポート
- パワー/チャンネルスイッチ
- フック（オス）ファスナー
- クリップソケット

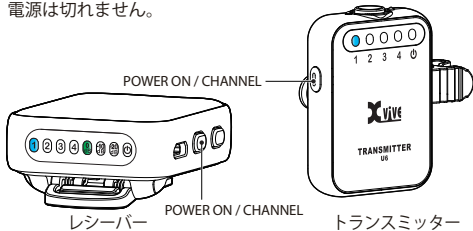
レシーバー



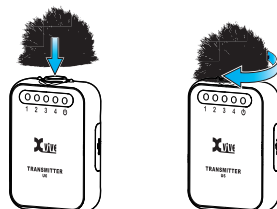
- チャンネルディスプレイ
- ゲインディスプレイ
- パワーLED
- ゲインスイッチ
- 3.5mm TRS出力端子
- USB充電ポート
- パワー/チャンネルスイッチ
- クリップ

クイックスタート

1. パワー&チャンネル
トランスミッター、レシーバーのパワー/チャンネルスイッチをディスプレイが点灯するまで3秒間ホールドしてください。パワー/チャンネルスイッチを短く押しとチャンネルが1-4の間で切り替わります（チャンネルはディスプレイで確認してください）。ペアリングを行うにはトランスミッターとレシーバーを同じチャンネルに合わせてください。ペアリングが成功するとレシーバーの緑のLEDが点灯します。使用が終わったら、パワー/チャンネルスイッチを消灯するまで3秒間ホールドして電源を切ってください。自動では電源は切れません。



2. ファーウィンドシールド取り付け
ポップノイズや野外レコーディングの際の風切り音を軽減するために使用します。ファーウィンドシールドをトランスミッターのマイクソケットに差し込み軽く回して固定してください。

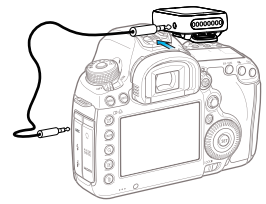


3. トランスミッターのセットアップ
トランスミッターを口または音源から少なくとも10インチ（約25cm）離してください。



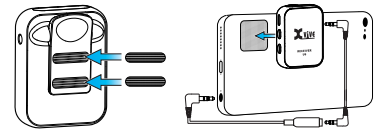
4. レシーバーとデジタル一眼レフカメラの接続

カメラのシューマウントにレシーバーの足をスライドして挿入します。付属の3.5mm TRSケーブルを使用してレシーバー出力端子からカメラの入力端子へ接続します。



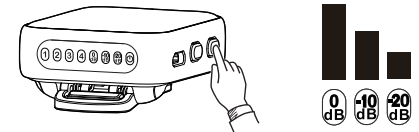
4.1 レシーバーとスマートフォンの接続

スマートフォンへ接続する場合はイラストのように、付属の3.5mm TRSステレオケーブルの一端をレシーバーへ、もう一端を付属の3.5mm TRSメス - 3.5mm TRRSオス変換アダプターへ繋ぎ、TRRSオス側をスマートフォンのヘッドフォンジャックへ繋いでください。ご使用のスマートフォンがUSB Type-CやLightning仕様の場合はTRS - USB Type-CまたはTRS - Lightning変換アダプターを別途購入ください。レシーバーをスマートフォンへ装着する場合は付属の面ファスナーをレシーバーのクリップ部に貼って固定ください。スマートフォンによっては外部マイク入力を受け付けるアプリを別途インストールする必要があります。



5. 出力ゲイン調整

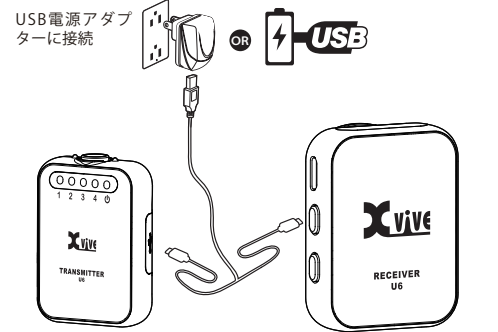
レシーバーのゲインスイッチを押して0 dB/-10 dB/-20 dBの3つのプリセットを切り替えることができます。



6. バッテリーと充電

付属のデュアルUSB充電ケーブルを使用してトランスミッターとレシーバーの同時充電が可能です。一般的な5V仕様のUSB充電アダプターやその他のUSB充電デバイスへ接続してください。注意：充電中はU6本体のパワーをオフにしてください。充電中はU6を使用しないでください。バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。*フル充電まで約2.5時間

パワーLED表示と充電状態	
LED点灯 =	30%~100%
赤色点灯 =	11%~29%
赤色点滅 =	10%以下

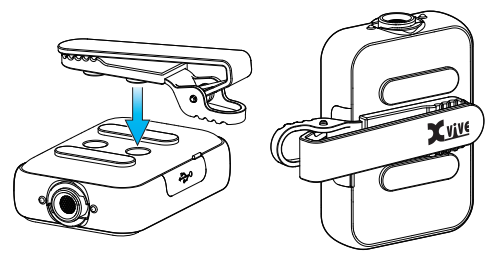


*常に常温下で保管。
*本機を保管する際には、定期的にバッテリーの充電状態を確認し、必要に応じて充電してください。

充電時間	駆動時間
0:35	1時間
1:15	2時間
2:30	4時間

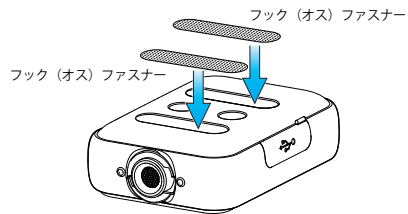
トランスミッター装着方法

クリップ
付属クリップをトランスミッター裏の丸いごぼみに差し込み固定してください。クリップを使用して、トランスミッターを衣服の裏側に装着してください。



面ファスナー

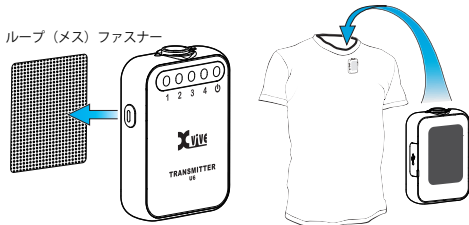
トランスミッター裏のくぼみにフック（オス）ファスナーを貼ってください。



注意

フック（オス）ファスナーはニットやウールセーターなどの目の粗い素材に張り付きやすく、ほつれの原因となるため直接触れさせないようにご注意ください。ループ（メス）ファスナーは接着の際に、衣服に接着材（のり）が残る可能性があります。長時間衣服に付けたままにしないようご注意ください。

面ファスナーを使用してトランスミッターを衣服に装着するには、ループ（メス）ステッカーを衣服の内側に貼り、トランスミッター裏側に貼ったフック（オス）ファスナーに押し付けて固定してください。尚、トランスミッターの位置は口から10インチ（約25cm）離してください。



認証



無線認証: FCC Part 15.249, FCC Part 15 B, RSS-210(Canada), EN 300 440 (Europe), EN 301.489 (Europe), MICNotice No.88 Appendix No.43 (Japan)

このクラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

このデバイスには、カナダのInnovation, Science and Economic Development Canadaのライセンス免除のRSSIに準拠したライセンス免除のトランスミッター/レーザーが含まれています。操作には以下の2つの条件があります。

1. このデバイスは干渉を起こさないこと。
2. 本機は、以下の干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

本機は、本機の望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

FCC 認証

このデバイスは、米国連邦通信委員会規則のパート15に準拠しています。操作には以下の2つの条件に従うものとします。

- (1) 本機が有害な干渉を起こさないこと。
- (2) 本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

警告:

Xvive社が書面上で承認していない変更や修正は、この機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

電波使用に関する注意:

このトランスミッターは、他のアンテナやトランスミッターと一緒に設置したり、操作したりしてはいけません。

注意:

本機は、テストの結果、FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から合理的に保護するためのものです。本機は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。特定の設置場所で干渉が起らないという保証はありません。本機がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、本機の電源を切ったり入れたりすることで判断できますが、以下の方法で干渉を修正することをお勧めします。本機がラジオやテレビの受信に有害な影響を与える場合は、次のような対策をとることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えたり、場所を変えたりする。
- 機器とレーザーの距離を離す。
- 本機を、レーザーが接続されている回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

重要な安全上の注意事項を必ずお読みください。
この説明書をよく読んで安全な場所に保管してください。



警告:

Xviveビデオシステム用ワイヤレスオーディオをご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みください。

1. U6のマニュアルに記載されていることをよく守ってください。
2. U6のマニュアルに記載されている以上の調整(改造など)を行わないでください。本機が以下のような状態になった場合は、修理が必要です。
 - 液体をこぼしたり、本機の中に物を落としてしまったとき。
 - 本機が雨や湿気にさらされたとき。
 - 本機が正常に動作しないとき、または性能が著しく変化したとき。
 - 本機を落としたり、筐体を破損した場合。
3. ラジエーター、ヒートレジスター、熱を発生する機器などの熱源の近くに置かないでください。
4. 機器内に異物や液体が入らないようにしてください。水の近くで使用したり、置いたりしないでください。
5. お手入れは、乾いた布で拭いてください。
6. Xvive社が指定したアタッチメントやアクセサリのみを使用してください。
7. 大音量での長時間の試聴は、回復不能な難聴や損傷を引き起こす可能性があります。常に"安全なリスニング"を心がけてください。

リチウムイオン充電電池の安全上の注意

誤った使い方をすると、充電式電池が漏れることがあります。また最悪の場合には、以下の危険性があります。

- 爆発
 - 火災
 - 発熱
 - 煙やガスの発生
- Xviveは、乱用や誤用によって生じた損害について、一切の責任を負いません。
- 子供の手に届かないところで保管してください。
 - 充電式電池の充電には、Xviveが推奨する充電器を使用してください。
 - 正しい極性を守ってください。
 - 充電した充電電池は、端子同士が接触しないように梱包・保管してください。
 - 湿気に晒さないでください。
 - 充電式電池を使用した製品は、使用後にスイッチを切ってください。
 - 充電式電池は、周囲の温度が10°C/50°Fから40°C/104°Fの間でのみ充電してください。
 - 充電式電池を長期間使用しない場合は、定期的に充電してください（約3ヶ月に1回）。
 - 傷つけたり分解したりしないでください。
 - 60°C/140°F以上に加熱しないでください。例えば直射日光に当てたり、火の中に投げ込まないでください。
 - 明らかに欠陥のある製品からは、ただちに充電式電池を取り外してください。
 - 欠陥のある充電式電池を使用し続けしないでください。
 - Xviveが指定した充電式電池のみを使用してください。
 - 充電式電池は、専用の回収場所で廃棄するか、専門の販売店に返却してください。
 - 製品は、涼しく乾燥した室温（約20°C）の場所に保管してください。
 - 長期間使用しない場合は、充電式電池を取り外してください。

トラブルシューティング

音が出ない

- トランスミッター、レーザー両方のパワースイッチがオンになっていることを確認。またバッテリーの充電状態を確認してください。
- トランスミッターとレーザーが同じチャンネルであることを確認してください。
- レーザー出力がカメラ/レコーディング機器に正しく接続されていることを確認してください。
- レーザーのゲインを適切なレベルに調整してください。
- 使用カメラのボリュームとゲイン設定が適切であるか確認してください。

音が割れる

- 使用カメラのボリューム自動調整機能をオフにしてマニュアル設定でご使用ください。
- レーザーの出力レベルを下げてみてください。
- トランスミッターを口または音源から少なくとも10インチ（約25cm）離してください。

録音レベルが低すぎる

- レーザーの出力レベルを上げてください。
- 使用カメラのオーディオ入力をマニュアルモードに設定して、入力レベルを上げてください。

シグナルが不安定

- マニュアル内「ワイヤレスシステムのパフォーマンスを向上させるためのヒントと方法」を参照ください。

U6の複数同時使用

U6は4チャンネル仕様のため、同じ場所でU6を最大4セット同時使用可能です。各セットのトランスミッターとレーザーがそれぞれ別のチャンネルを選択していることを確認ください。

2.4GHzワイヤレス概要と干渉

U6は、Wi-FiやBluetoothなどの無線機器が使用している2.4GHz帯のISMバンドで動作します。2.4GHzはオープンバンドであり、世界中で使用するためのライセンスは必要ありません。

ワイヤレスシステムのパフォーマンスを向上させるためのヒントと方法

- 1) U6レーザーとルーターなどの他のWi-Fiトランスミッターとの間に3メートル以上の距離を保つ。
- 2) 他のWi-Fi製品との干渉が生じた際は、U6のトランスミッター/レーザーのチャンネルを変更する。
- 3) 必要に応じてU6のトランスミッター/レーザーの距離を短くする。



警告

感電の恐れがありますので
分解しないでください



注意:

火災や感電の危険を避けるため、ネジを外さないでください。内部にはユーザーによる調整を必要とする部品はありません。修理は資格を持ったサービススタッフにご依頼ください。

注意:

火災や感電の危険を避けるため、本機を雨や湿気にさらさないでください。